

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	DWS世界新興国株式マザーファンドを主要投資対象とします。
	マザーファンド	主として、ブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国(以下「主要投資対象国」といいます。)のいずれかの証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式及び預託証券等(以下総称して「株式等」といいます。)のうち、主要投資対象国において主たる企業活動を展開する企業、本店が所在する企業の株式等を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時(原則として2月18日及び8月18日。ただし、同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

# DWSグローバル新興国株投信

## 愛称:ブリック・プラス

第30期 運用報告書(全体版)

決算日 2022年2月18日

■投資者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「DWSグローバル新興国株投信(愛称:ブリック・プラス)」は、2022年2月18日に第30期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ドイツェ・アセット・マネジメント株式会社  
東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

〈お問い合わせ先〉

電話番号: 03-5156-5108

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

\*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配)	標準価額			株組入比率	純資産額
		税金	込配	み金 期騰落		
	円			円	%	百万円
26期(2020年2月18日)	12,610			0	24.5	487
27期(2020年8月18日)	12,075			0	△4.2	444
28期(2021年2月18日)	16,092			0	33.3	559
29期(2021年8月18日)	14,746			0	△8.4	518
30期(2022年2月18日)	14,898			0	1.0	502

(注1) 当ファンドは、DWS世界新興国株式マザーファンドへの投資を通じて、主にBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)と、BRICsに続く高い経済成長が期待されている他の新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

(注2) 株式組入比率には、新株予約権証券、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

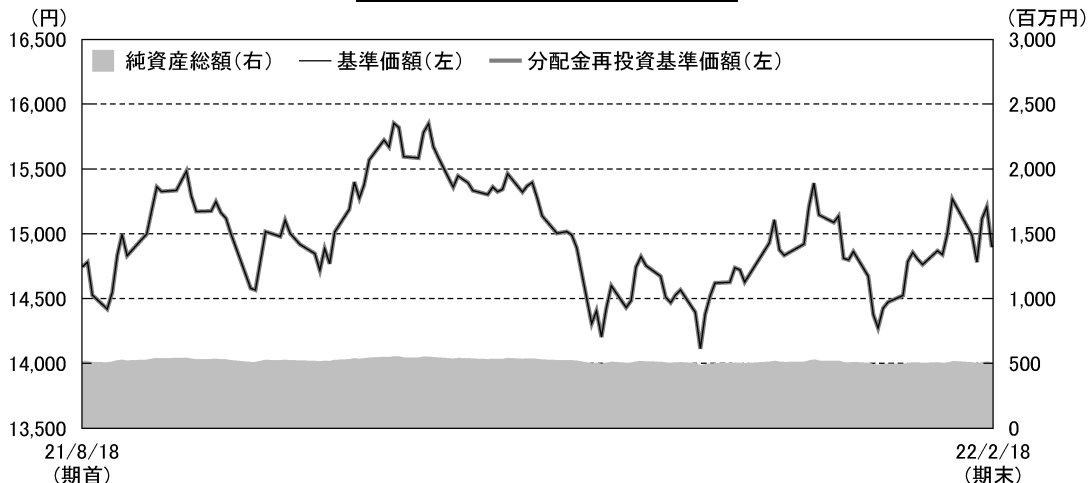
年月日	基準価額	標準価額		株組入比率
		騰落	率	
(期首) 2021年8月18日	円 14,746		% -	% 97.5
8月末	14,998		1.7	96.3
9月末	14,961		1.5	96.0
10月末	15,587		5.7	96.9
11月末	14,405		△2.3	96.3
12月末	14,627		△0.8	96.9
2022年1月末	14,524		△1.5	97.5
(期末) 2022年2月18日	円 14,898		1.0	97.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式組入比率には、新株予約権証券、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

## 基準価額と純資産総額の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## ◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において14,898円となり、前期末比1.0%上昇しました。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主にブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。国別では、ロシア銘柄の株価下落等がマイナスに影響した一方で、台湾やインド銘柄の株価上昇等がプラスに寄与しました。業種別では、一般消費財・サービスや生活必需品関連銘柄の株価下落等がマイナスに影響した一方で、情報技術やエネルギー関連銘柄の株価上昇等がプラスに寄与しました。個別銘柄では、銀行のズベルバンク・オブ・ロシア(金融、ロシア)や多岐にわたるネット関連ビジネスを展開するアリババ・グループ・ホールディング(一般消費財・サービス、中国)の保有等がマイナスに影響した一方、半導体メーカーの台湾セミコンダクター(情報技術、台湾)や石油・ガス生産会社のブラジル石油公社(エネルギー、ブラジル)の保有等がプラスに寄与しました。

## ◆投資環境

当期のBRICS株式市場は、国毎にまちまちの展開となりました。インターネット関連企業への規制強化や不動産大手の債務問題、国内景気の減速懸念等が重石となった中国市場は、期を通じて上値が重く総じて軟調な展開となりました。国内政治の混乱や財政規律に対する懸念、金融引き締め継続等が嫌気されたブラジル市場は、原油や鉄鉱石価格の上昇等を受けて期末にかけて反発

したものの、前期末比での騰落はマイナスとなりました。ウクライナ情勢の緊迫化が嫌気されたロシア市場では、株価が大幅に下落しました。一方で、インド市場は、国内景気の回復基調や政府の景気支援策等を受けて底堅い展開が続きました。

#### ◆運用状況

##### (当ファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主にブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

##### (DWS世界新興国株式マザーファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、主にブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。期中の主な売買銘柄は以下のとおりです。

##### (購入)

なし

##### (売却)

##### 台湾セミコンダクター(台湾)

ポートフォリオにおける投資比率が高まったため一部売却しました。

##### テンセント・ホールディングス(中国)

中国でインターネット業界に対する規制リスクが高まったことから一部売却しました。

##### 招商銀行(中国)

利益の一部を確定しました。

## ◆収益分配金

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第30期
	2021年8月19日～ 2022年2月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,828

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

## ◆今後の運用方針

### (当ファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主にブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)などの新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### (DWS世界新興国株式マザーファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主にブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

2022年前半の新興国市場は、投資家が中央銀行の政策や新型コロナウイルスに関する追加的な材料を消化するなかでボラティリティの高い展開が続くと思われませんが、年央までにはこれらの問題に対処できるようになり、後半は好調に推移するとみています。世界の他の中央銀行が金融引き締めに向けて転じているのに対し、中国は成長を刺激するために逆の方向にシフトしています。秋に開催される共産党大会に向けて景気を改善させる必要もあることから、2022年を通してこの姿勢を維持するとみています。短期的には、ロックダウンや各種規制に対する懸念から変動性が再び高まる展開も想定されますが、中央銀行が金融緩和に舵を切るなか、コロナ対策や規制に対する政府の姿勢が明確になれば、マーケットは再び活気を取り戻すと思われれます。多くの銘柄が非常に魅力的なバリュエーションで取引されていますが、長期的にはより質の高い企業にパフォーマンス面での優位性があると考えており、そのような銘柄の株価は戻りを試していくとみています。また、足元ではウクライナ情勢が緊迫化していることから、その状況も注視しながら運用にあたる方針です。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年8月19日～2022年2月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 155	% 1.042	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 74 )	( 0.499 )	委託した資金の運用等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 74 )	( 0.499 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 7 )	( 0.044 )	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 0 )	( 0.001 )	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.004	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 1 )	( 0.004 )	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	21	0.143	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 13 )	( 0.086 )	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ・ 印 刷 費 用 等 ）	( 9 )	( 0.057 )	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	177	1.190	
期中の平均基準価額は、14,850円です。			

(注1) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

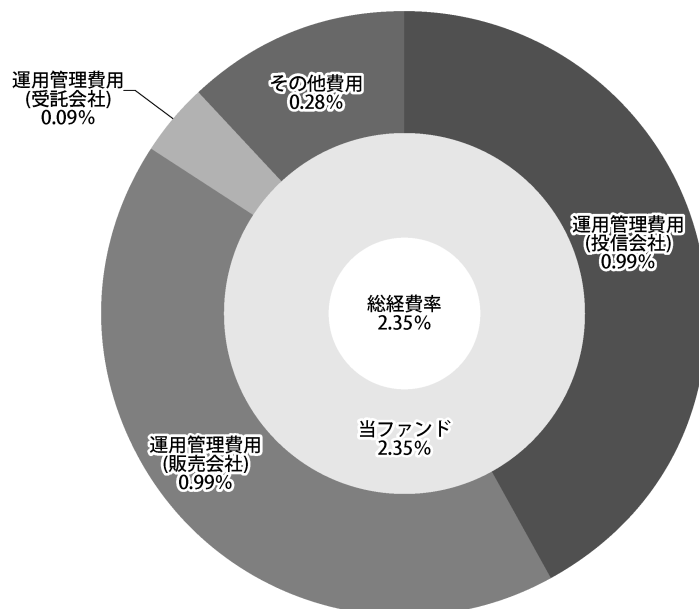
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

## (参考情報)

### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.35%です。



(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注5)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年8月19日～2022年2月18日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
DWS世界新興国株式マザーファンド	千口 6,397	千円 14,170	千口 17,480	千円 38,407

(注)単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2021年8月19日～2022年2月18日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	DWS世界新興国株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	169,053千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,849,188千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.04	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2)単位未満は切捨て。

(注3)マザーファンドの数字は、当ファンドの計算期間で算出。

## ○マザーファンドにおける主要な売買銘柄

(2021年8月19日～2022年2月18日)

### ●DWS世界新興国株式マザーファンド

#### 株式

買 付				売 付			
銘柄	株 数	金 額	平均単価	銘柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
—	—	—	—	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR(7/1カ)	3	52,230	14,508
				TENCENT HOLDINGS LTD(香港)	8	49,210	6,151
				CHINA MERCHANTS BANK-H(香港)	32	26,292	821
				PING AN HEALTHCARE AND TECHN(香港)	25	23,813	952
				IND & COMM BK OF CHINA - H(香港)	150	9,023	60
				PING AN INSURANCE GROUP CO-H(香港)	5	4,592	918
				CHINA CONSTRUCTION BANK-H(香港)	50	3,890	77

(注1)金額は受渡し代金。

(注2)単位未満は切捨て。

(注3)アメリカなど当ファンドの投資対象国以外の銘柄は、当該国において取引されている預託証券(ADR、GDR)等を通じて、実質的には投資対象国の株式を売買しているものです。

(注4)国名は企業の本拠地がある国ではなく、売買が行われている市場が存在する国を記載しています。



## ○利害関係人との取引状況等

(2021年8月19日～2022年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年8月19日～2022年2月18日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年8月19日～2022年2月18日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2022年2月18日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
DWS世界新興国株式マザーファンド	千口 242,724	千口 231,641	千円 511,046

(注)単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年2月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
DWS世界新興国株式マザーファンド	511,046	100.0
コール・ローン等、その他	98	0.0
投資信託財産総額	511,144	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) DWS世界新興国株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(3,895,534千円)の投資信託財産総額(3,954,425千円)に対する比率は98.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年2月18日における邦貨換算レートは、1米ドル=114.95円、1カナダドル=90.41円、1メキシコペソ=5.6611円、1ブラジルリアル=22.2193円、100チリペソ=14.4426円、1英ポンド=156.42円、1トルコリラ=8.4928円、1チェココルナ=5.3542円、100ハンガリーフォリント=36.6334円、1ポーランドズロチ=28.8605円、1ロシアルーブル=1.52円、1香港ドル=14.74円、1シンガポールドル=85.60円、1マレーシアリンギット=27.4641円、1タイバーツ=3.57円、1フィリピンペソ=2.2387円、100インドネシアルピア=0.81円、100韓国ウォン=9.61円、1新台湾ドル=4.1247円、1インドルピー=1.54円、1イスラエルシェケル=35.7938円、1南アフリカランド=7.66円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年2月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	511,144,601
コール・ローン等	98,121
DWS世界新興国株式マザーファンド(評価額)	511,046,480
(B) 負債	8,181,791
未払解約金	2,484,520
未払信託報酬	5,434,537
その他未払費用	262,734
(C) 純資産総額(A-B)	502,962,810
元本	337,605,308
次期繰越損益金	165,357,502
(D) 受益権総口数	337,605,308口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,898円

<注記事項>

期首元本額	351,626,855円
期中追加設定元本額	13,095,356円
期中一部解約元本額	27,116,903円

## ○損益の状況 (2021年8月19日～2022年2月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 5
支払利息	△ 5
(B) 有価証券売買損益	10,299,845
売買益	11,055,034
売買損	△ 755,189
(C) 信託報酬等	△ 5,697,271
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,602,569
(E) 前期繰越損益金	162,780,412
(F) 追加信託差損益金	△ 2,025,479
(配当等相当額)	( 52,862,357)
(売買損益相当額)	(△ 54,887,836)
(G) 計(D+E+F)	165,357,502
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	165,357,502
追加信託差損益金	△ 2,025,479
(配当等相当額)	( 52,896,573)
(売買損益相当額)	(△ 54,922,052)
分配準備積立金	211,403,529
繰越損益金	△ 44,020,548

(注1) (A) 配当等収益—支払利息にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(注2) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注3) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注4) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金の計算過程

(2021年8月19日～2022年2月18日)

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	2,667,445円
b. 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
c. 信託約款に定める収益調整金	52,896,573
d. 信託約款に定める分配準備積立金	208,736,084
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	264,300,102
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,828
g. 分配金	0
h. 分配金(1万口当たり)	0

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

(注1)分配金をお支払いする場合

分配金のお支払いは、原則として決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

(注2)分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、税引後みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

\*個人受益者が受取る普通分配金については、原則として20%(所得税15%、地方税5%)の税率で源泉徴収されます。(法人受益者の場合は税制が異なります。)

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%)の税率が適用されます。

\*少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方となります。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

\*元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

\*税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。

\*課税上の取扱いの詳細については、税務専門家または税務署にご確認下さい。

〈お知らせ〉

- ・該当事項はございません。

# DWS 世界新興国株式マザーファンド

## 運用報告書

《第15期》

決算日：2021年8月18日

(計算期間：2020年8月19日～2021年8月18日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	主として、ブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国(以下「主要投資対象国」といいます。)のいずれかの証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式及び預託証書等(以下総称して「株式等」といいます。)のうち、主要投資対象国において主たる企業活動を展開する企業、本店が所在する企業の株式等を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		株式組入比率	純資産額
		騰落	中率		
	円		%		百万円
11期(2017年8月18日)	13,787		32.1	95.8	6,184
12期(2018年8月20日)	13,920		1.0	93.9	4,466
13期(2019年8月19日)	14,256		2.4	94.1	3,960
14期(2020年8月18日)	17,381		21.9	95.0	4,030
15期(2021年8月18日)	21,615		24.4	96.4	4,094

(注1) 当ファンドは、主にBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)と、BRICsに続く高い経済成長が期待されている新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

(注2) 株式組入比率には、新株予約券証券、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。

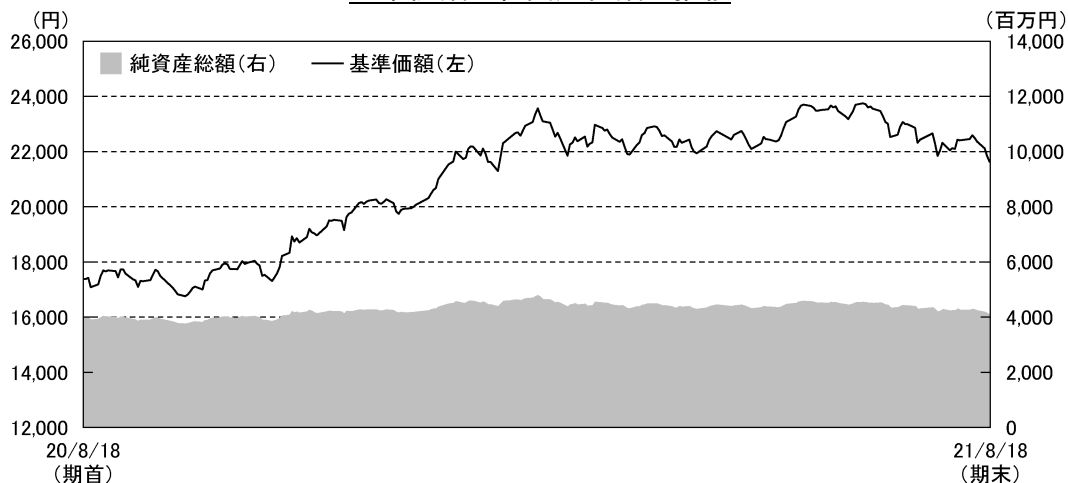
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株式組入比率
		騰落	率	
(期首)	円		%	%
2020年8月18日	17,381		—	95.0
8月末	17,670		1.7	97.1
9月末	16,919	△	2.7	97.1
10月末	17,536		0.9	98.5
11月末	19,494		12.2	97.6
12月末	20,073		15.5	96.2
2021年1月末	21,626		24.4	94.2
2月末	22,493		29.4	96.4
3月末	22,593		30.0	97.7
4月末	22,741		30.8	98.0
5月末	23,216		33.6	98.6
6月末	23,600		35.8	97.6
7月末	22,319		28.4	95.2
(期末)				
2021年8月18日	21,615		24.4	96.4

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式組入比率には、新株予約券証券、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。

### 基準価額と純資産総額の推移



#### ◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において21,615円となり、前期末比24.4%上昇しました。当ファンドは、主にブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。国別では、インドやロシア銘柄の株価上昇等がプラスに寄与しました。業種別では、金融や情報技術関連銘柄の株価上昇等がプラスに寄与しました。個別銘柄では、半導体メーカーの台湾セミコンダクター(情報技術、台湾)や銀行のズベルバンク・オブ・ロシア(金融、ロシア)の保有等がプラスに寄与しました。

#### ◆投資環境

当期のBRICs株式市場では、中国を除き株価が大きく上昇しました。期初は、欧州における新型コロナウイルスの感染再拡大などを背景にやや軟調な展開となりました。しかし、2020年11月に入り、米大統領・議会選の結果やワクチン開発の進展を受けて世界的にリスク選好の動きが広がると、新興国の各市場でも株価は大きく上昇しました。その後も、新型コロナウイルスワクチンの普及による経済活動の正常化や米国の大型経済対策に対する期待などから、概ね株価の堅調な推移が続きました。期の前半は、政府による景気支援策の拡充などが好感されたインド市場の上昇が特に目立ちました。後半は、各国まちまちの展開となり、経済活動の再開による需要の回復見通しなどを背景に原油価格が大きく上昇したことなどが追い風となったロシア市場や、新型コロナウイルスの感染者数がピークアウトしたことなどが好感されたインド市場では株価の堅調な推移が概ね続きました。一方で、ブラジル市場は、2021年6月上旬まで株価の上昇基調が続いた後、鉄鉱石価格の下落や国内政治の混乱などを背景に、期末にかけて軟調な展開となりました。また、米中間

係の悪化に加え、インターネットや教育関連企業に対する規制強化の動きなどが嫌気された中国市場は、期の後半を通じて株価の軟調な推移が続き、エマージング市場全体の足を大きく引っ張りました。

#### ◆運用状況

当ファンドでは当初の運用方針通り、主にブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。期中の主な売買銘柄は以下のとおりです。

##### (購入)

###### 香港取引所(香港)

中国ハイテク企業の香港市場への上場や中国本土投資家による取引の増加などが業績の拡大に寄与すると考えました。

###### SKハイニックス(韓国)

スマートフォンに対する需要の増加を背景とする半導体メモリ価格の上昇が業績の追い風になると考え購入しました。

###### ヤンデックス(ロシア)

コロナ禍でネットビジネスにおけるマーケットシェアを伸ばしている点などを評価し購入しました。

##### (売却)

###### 台湾セミコンダクター(台湾)

株価の上昇を受けて投資比率が高まったため一部売却しました。

###### サムスン電子(韓国)

株価の上昇を受けて投資比率が高まったため一部売却しました。

###### ピン・アン・ヘルスケア・アンド・テクノロジー(中国)

競合他社の事業拡大が業績の逆風になると考え売却しました。

#### ◆今後の運用方針

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主にブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

足元では中国政府が自国企業に対する規制を強める動きが目立ち、懸念材料となっています。一方で、先進国の大規模な景気対策と経済活動の再開、低金利環境の組み合わせが、世界経済の成長を一段と後押しすることが見込まれます。短期的には不透明感もありますが、世界経済の先行きに対する明るい見通しが新興国株式の大きな支えになると考えています。

## ○1万口当たりの費用明細

(2020年8月19日～2021年8月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 1 (1)	% 0.006 (0.006)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.019 (0.019)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用 ) (そ の 他 )	36 (31) (5)	0.173 (0.147) (0.026)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金 ・資産の移転等に要する費用 証券投資信託管理事務等に係る費用
合 計	41	0.198	
期中の平均基準価額は、20,856円です。			

(注1) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料、(b) 有価証券取引税、(c) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) (c) その他費用（その他）はマイナス金利に係る費用を含みます。



## ○売買及び取引の状況

(2020年8月19日～2021年8月18日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 385	千米ドル 691	百株 410	千米ドル 2,730
	ブラジル	— (2,190)	千ブラジルリアル ( — )	1,230	千ブラジルリアル 4,608
	香港	110	千香港ドル 4,159	7,810	千香港ドル 21,904
国	韓国	45	千韓国ウォン 464,421	228	千韓国ウォン 1,661,566
	インド	—	千インドルピー —	100	千インドルピー 5,094
	南アフリカ	—	千南アフリカランド —	20	千南アフリカランド 6,040

(注1)金額は受渡し代金。

(注2)単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は増資割当、株式転換・合併等による増減分です。

(注4)アメリカなど当ファンドの投資対象国以外の取引は、当該国において取引されている預託証券(ADR、GDR)等を通じて、実質的には投資対象国の株式を売買しているものです。

(注5)国名は企業の本拠地がある国ではなく、売買が行われている市場が存在する国を記載しています。

## ○株式売買比率

(2020年8月19日～2021年8月18日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,056,622千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,150,014千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.25

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2)単位未満は切捨て。

## ○主要な売買銘柄

(2020年8月19日～2021年8月18日)

### 株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR (香港)	11	55,741	5,067	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR (アメリカ)	16	174,284	10,892
SK HYNIX INC (韓国)	4	43,859	9,746	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD (韓国)	19	139,716	7,056
SBERBANK-SPONSORED ADR (アメリカ)	33	38,775	1,157	PING AN HEALTHCARE AND TECHN (香港)	75	94,114	1,254
YANDEX NV-A (アメリカ)	5	33,421	6,684	TENCENT HOLDINGS LTD (香港)	12	88,281	7,356
				NASPERS LTD-N SHS (南アフリカ)	2	41,196	20,598
				CNOOC LTD (香港)	400	41,195	102
				ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR (アメリカ)	1	27,221	27,221
				WEG SA (ブラジル)	25	26,526	1,061
				PING AN INSURANCE GROUP CO-H (香港)	25	25,885	1,035
				PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR (ブラジル)	50	24,952	499

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) アメリカなど当ファンドの投資対象国以外の銘柄は、当該国において取引されている預託証券(ADR、GDR)等を通じて、実質的には投資対象国の株式を売買しているものです。

(注4) 国名は企業の本拠地がある国ではなく、売買が行われている市場が存在する国を記載しています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年8月19日～2021年8月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○組入資産の明細

(2021年8月18日現在)

外国株式

銘柄	株数	金額	当期		業種等		
			株数	金額		期末	
						外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円			
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	100	90	1,563	171,289	小売		
AOA GAZPROM SPON ADR	800	800	648	71,076	エネルギー		
GERDAU SA -SPON ADR	700	650	354	38,879	素材		
HDFC BANK LTD-ADR	200	170	1,299	142,376	銀行		
SURGUTNEFTGAS-PFD-CLS	6,000	6,000	308	33,773	エネルギー		
LUKOIL PJSC-SPON ADR	200	180	1,611	176,563	エネルギー		
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	460	300	3,333	365,163	半導体・半導体製造装置		
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	200	170	982	107,643	エネルギー		
SBERBANK-SPONSORED ADR	1,115	1,350	2,457	269,164	銀行		
YANDEX NV-A	100	140	966	105,932	メディア・娯楽		
小計	株数・金額	9,875	9,850	13,526	1,481,862		
	銘柄数<比率>	10	10	-	<36.2%>		
(メキシコ)			千メキシコペソ				
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD	500	500	8,725	47,809	食品・飲料・タバコ		
小計	株数・金額	500	500	8,725	47,809		
	銘柄数<比率>	1	1	-	<1.2%>		
(ブラジル)			千ブラジルレアル				
VALE SA	500	420	4,494	92,957	素材		
BANCO DO BRASIL S. A.	200	200	586	12,133	銀行		
PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR	2,500	2,000	5,406	111,821	エネルギー		
WEG SA	800	1,250	4,336	89,694	資本財		
BANCO BRADESCO SA-PREF	1,000	990	2,272	46,996	銀行		
RAIA DROGASIL SA	200	900	2,286	47,285	食品・生活必需品小売り		
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	300	900	1,243	25,727	各種金融		
NATURA &CO HOLDING SA	800	600	3,156	65,280	家庭用品・パーソナル用品		
小計	株数・金額	6,300	7,260	23,780	491,896		
	銘柄数<比率>	8	8	-	<12.0%>		
(香港)			千香港ドル				
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	-	100	4,752	66,813	各種金融		
CNOOC LTD	4,000	-	-	-	エネルギー		
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	997	747	5,084	71,493	保険		
CHINA CONSTRUCTION BANK-H	8,000	7,500	4,236	59,568	銀行		
CHINA MERCHANTS BANK-H	1,500	1,320	8,464	119,010	銀行		
IND & COMM BK OF CHINA - H	8,000	8,000	3,499	49,198	銀行		
CHINA RESOURCES CEMENT	3,500	1,500	1,164	16,365	素材		
PING AN HEALTHCARE AND TECHN	1,000	250	1,733	24,375	ヘルスケア機器・サービス		
TENCENT HOLDINGS LTD	500	380	16,635	233,889	メディア・娯楽		
小計	株数・金額	27,497	19,797	45,570	640,715		
	銘柄数<比率>	8	8	-	<15.6%>		
(タイ)			千タイバート				
PTT PCL-NVDR	1,500	1,500	5,400	17,820	エネルギー		
CP ALL PCL-NVDR	1,000	1,000	5,825	19,222	食品・生活必需品小売り		
小計	株数・金額	2,500	2,500	11,225	37,042		
	銘柄数<比率>	2	2	-	<0.9%>		
(韓国)			千韓国ウォン				
LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE	4	3	510,650	47,592	家庭用品・パーソナル用品		
LG CHEM LTD	8	8	714,400	66,582	素材		
SHINHAN FINANCIAL GROUP LTD	110	80	310,800	28,966	銀行		

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(韓国)	百株	百株	千韓国ウォン	千円		
SK HYNIX INC	—	45	456,750	42,569	半導体・半導体製造装置 自動車・自動車部品 素材 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
HYUNDAI MOTOR CO	30	30	639,000	59,554		
POSCO	17	17	560,150	52,205		
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	700	502	3,724,914	347,162		
小 計	株 数 ・ 金 額	869	685	6,916,664	644,633	
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	7	—	<15.7%>	
(台湾)			千新台幣ドル			
HON HAI PRECISION INDUSTRY	800	800	8,520	33,510	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株 数 ・ 金 額	800	800	8,520	33,510	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.8%>	
(インド)			千インドルピー			
LARSEN & TOUBRO LTD	300	300	49,304	72,970	資本財	
ULTRATECH CEMENT LTD	100	100	73,636	108,981	素材	
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	70	70	24,663	36,502	ソフトウェア・サービス	
ICICI BANK LTD	1,800	1,700	118,546	175,448	銀行	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,270	2,170	266,150	393,902	
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	4	—	<9.6%>	
(南アフリカ)			千南アフリカランド			
FIRSTSTRAND LTD	1,000	1,000	5,915	43,416	各種金融	
NASPERS LTD-N SHS	90	70	16,728	122,789	小売	
MULTICHOICE GROUP LTD	90	90	1,109	8,145	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,180	1,160	23,753	174,351	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<4.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	51,791	44,723	—	3,945,723	
	銘 柄 数 < 比 率 >	43	44	—	<96.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) <>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) -印は組入れなし。

(注5) アメリカなど当ファンドの投資対象国以外の銘柄は、当該国において取引されている預託証券(ADR、GDR)等を通じて、実質的には投資対象国の株式を組入れているものです。

(注6) コードの変更等があった銘柄は、別銘柄として記載している場合があります。

(注7) 国名は企業の本拠地がある国ではなく、売買が行われている市場が存在する国を記載しています。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	3,945,723	96.4
コール・ローン等、その他	148,794	3.6
投資信託財産総額	4,094,517	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建純資産(4,078,793千円)の投資信託財産総額(4,094,517千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年8月18日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.55円、1カナダドル=86.68円、1メキシコペソ=5.4796円、1ブラジルレアル=20.6847円、100チリペソ=13.8638円、1英ポンド=150.55円、1トルコリラ=12.9931円、1チェココロナ=5.0387円、100ハンガリーフォリント=36.487円、1ポーランドズロチ=28.1034円、1ロシアルーブル=1.49円、1香港ドル=14.06円、1シンガポールドル=80.46円、1マレーシアリンギット=25.8278円、1タイバーツ=3.30円、1フィリピンペソ=2.1732円、100インドネシアルピア=0.77円、100韓国ウォン=9.32円、1新台幣ドル=3.9331円、1インドルピー=1.48円、1イスラエルシェケル=33.8373円、1南アフリカランド=7.34円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月18日現在)

## ○損益の状況 (2020年8月19日～2021年8月18日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,142,182,165
コール・ローン等	133,445,484
株式(評価額)	3,945,723,426
未収入金	48,024,292
未収配当金	14,988,963
(B) 負債	47,665,096
未払金	47,665,054
未払利息	42
(C) 純資産総額(A-B)	4,094,517,069
元本	1,894,326,450
次期繰越損益金	2,200,190,619
(D) 受益権総口数	1,894,326,450口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,615円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	110,445,337
受取配当金	110,392,124
受取利息	70,046
支払利息	△ 16,833
(B) 有価証券売買損益	829,431,079
売買益	1,103,699,056
売買損	△ 274,267,977
(C) 保管費用等	△ 7,489,650
(D) 当期損益金(A+B+C)	932,386,766
(E) 前期繰越損益金	1,711,615,629
(F) 追加信託差損益金	69,943,808
(G) 解約差損益金	△ 513,755,584
(H) 計(D+E+F+G)	2,200,190,619
次期繰越損益金(H)	2,200,190,619

〈注記事項〉

- ①期首元本額 2,318,946,967円  
 期中追加設定元本額 58,696,066円  
 期中一部解約元本額 483,316,583円  
 ②当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 DWS世界新興国株式ファンド 1,650,553,318円  
 DWSグローバル新興国株投信 242,724,080円  
 DWS世界新興国株式ファンドVA (適格機関投資家専用) 1,047,052円

(注1) (A) 配当等収益—支払利息にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(注2) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 〈お知らせ〉

- ・該当事項はございません。

## ■ <ご参考> 用語の解説

用語	内容
運用報告書	投資信託がどのように運用され、その結果どうなったかを決算ごとに受益者(投資家)に報告する説明書です。この中では基準価額、分配金の状況や今後の運用方針などが詳しく説明されています。
ベビーファンドとマザーファンド	受益者(投資家)のみなさまが取得する投資信託(ファンド)を「ベビーファンド」といい、ベビーファンドの資金をまとめて実質的に運用するためのファンドを「マザーファンド」といいます。マザー(親)ファンドとベビー(子)ファンドによって構成されているため、ファミリーファンド方式と呼ばれています。
純資産総額	投資信託は株式や公社債等の値動きのある有価証券に投資します。この有価証券を時価で評価し、株式や公社債等から得られる配当金や利息等の収入を加えた資産の総額から、ファンドの運用に必要な費用等を差し引いた金額のことです。
基準価額	投資信託の値段のことです。投資信託に組み入れている株式や債券などをすべて時価評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこからファンドの運用に必要な費用などを差し引いて純資産総額を算出し、さらにその時の受益権口数で割ったものが「基準価額」であり、毎日算出されています。
信託報酬	投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。信託財産の中から運用会社・信託銀行・証券会社など販売会社へ間接的に支払われます。その割合および額は目論見書や運用報告書の運用管理費用(信託報酬)の項目に記載されています。
騰落率	投資信託の過去の運用実績(基準価額の推移の動向)を示すもので、基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出します。ある一定期間中に投資信託の価値がどれだけ変化しているかを表します。例えば過去3ヶ月、6ヶ月、1年等、一定期間に基準価額がどの程度値上がり(または値下がり)したのかを表しています。

出所：一般社団法人投資信託協会等